

自然と、あなたと、ともに未来へ。



2020年9月30日

株式会社レノバ

当社の四日市ソーラー発電所からプラトンホテル四日市へ 「顔の見える電力™」として2020年10月1日より電力供給を開始

株式会社レノバ（東京都中央区 代表取締役社長 CEO 木南陽介 以下、当社）は、みんな電力株式会社（東京都世田谷区 代表取締役 大石英司 以下、みんな電力）が提供する電力小売りサービスを通じ、当社が運営する四日市ソーラー発電所（三重県四日市市 設備容量 21.6MW）からプラトンホテル四日市（三重県四日市市）へ、「顔の見える電力™」として2020年10月1日より電力供給を開始することをお知らせいたします。



（四日市ソーラー発電所）

「顔の見える電力™」とは、みんな電力が2016年から開始した、電気需要者が再エネ発電所を選んで電力を購入できる電力小売りサービスです。電気需要者は、電気の産地やつくり方、関わる人々の思いなどを確認したうえで、購入先の発電所を選択することができます。当社は、「地域との共存共栄」を目指した再生可能エネルギー事業を進めていることから、電気の地産地消が実現する同サービスへ参加しています。

一方、四日市ソーラー発電所が2020年10月1日より電力供給を開始するプラトンホテル四日市は、価値観を共にする生産者や企業とのパートナーシップを通じて、SDGsへ積極的に取り組んでいます。新鮮な県産食材を活用した朝食「みえの朝ごはん」を提供しているほか、従業員の食材への理解を深めることを目的に生産現場を訪れる「食材の上流にさかのぼるプロジェクト」を開始するなど、地産地消を推進しています。また、昨年2019年10月には、地域の方々を招いてのSDGs関連セミナーも開催し

ています。

この度の四日市ソーラー発電所からプラトンホテル四日市への電力供給開始は、同ホテルのSDGsへの取組みの一環として、「食材だけでなく電気も三重県産」という想いを背景に実現したものです。

当社は引き続き、地域の皆さまとともに、ゆたかな地球と暮らしを未来の世代につないでいくために、自然の力を最大限活用して再生可能エネルギー事業を進めてまいります。

■ プラトンホテル四日市 支配人 黒田 美和様 コメント

当ホテルは、県内外からお越しになるお客様に「三重県に来てよかった」と思ってもらえるよう、地域に寄り添い、三重の食や文化を感じていただくことを第一に取り組んで参りました。この度、「顔の見える電力TM」を通じて、電力においても地元生産者とつながることができたことは、非常に意義のあることと捉えています。24時間365日稼働するホテル事業にとって、なくてはならないライフラインのひとつである電力も、食材と同様に地元生産者の想いをお客様に伝えていくことで、新しい付加価値の提供をもって、更なる地域連携を推進して参りたいと思います。

■ 株式会社レノバ 執行役員 オペレーション本部長 大出 賢幸 コメント

当社は、地域の文化に触れ、地域の皆さまの声に耳を傾けながら、持続的・長期的に地域社会・経済の活性化に貢献できるような再生可能エネルギー事業に取り組んでまいりました。この度、プラトンホテル四日市様に地産地消の視点から、当社が運営する四日市ソーラー発電所を選んでいただいたことは、「地域との共存共栄」を目指す当社にとって、非常に喜ばしいことと受け止めています。

また、「顔の見える電力TM」を通じて初めて電力需要者の方とつながったことは、電力小売事業を展開していない当社にとって新たな一歩でもあります。今後も、さらなる地域の皆さまとの連携を推進していきたいと考えています。

以上

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社レノバ 広報室

URL：www.renovainc.com/